

真空管バッファ回路搭載  
CD プレーヤー

# TRV-CD6SE

## 取扱説明書



# TRIODE

株式会社トライオード

〒343-0032 埼玉県越谷市袋山 609-3  
TEL:048-940-3852 / FAX:048-940-3853  
Eメール: service@triode.co.jp

不明点やご質問等は当社ユーザーサポート係宛て、下記時間内にお問合せください。  
ユーザーサポート受付時間：月～金曜日 TEL 10:00～16:00(休業日を除く)

2022年4月 Ver.2.4

この度はトライオード製品をお買い求めいただきまして誠に有難うございます。本機の機能を十分にお楽しみいただく為にも、ご使用前に本書を良くお読みいただき、正しくご使用ください。また、「安全上のご注意」は必ずお読みください。  
また、本書は保証書とともに大切に保管してください。

本機は一般家庭用オーディオ機器として作られたものです。  
一般家庭用以外（たとえば飲食店等でのBGMなど営業用の長時間使用、車両、船舶への搭載使用、野外での使用など）に使用しないでください。  
一般家庭用以外の使用で故障した場合は、保証期間内でも有償修理とさせていただきます。

## 安全上のご注意



**警告** 以下の内容を無視して誤った取り扱いをすると火災や感電による重大な人身事故の原因となります。

- ・絶対に裏蓋を開けないでください。故障や感電の原因となります。特に本機は内部に高電圧を使用しています。内部接触による人体の損傷や火傷などの責任は負いかねます。
- ・万が一、以下の様な異常が生じた場合、すぐに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。そのまま使用すると火災や感電の原因となりますので直ちに弊社へ修理をご依頼ください。
  - ・煙が出たり異臭がする
  - ・本機の内部に水（その他の液体）や異物が入った
  - ・落としたり、本体を破損した
- ・必ず接地接続を行ってください。  
接地接続は必ず電源プラグをコンセントにつなぐ前に行ってください。また、接地接続を外す場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜いてから行ってください。
- ・本機を交流（AC）100V 以外の電源で使用しないでください。それ以外の電源電圧や船舶等の直流（DC）電源には直接接続しないでください。故障や火災、感電の原因となります。
- ・電源ケーブルを傷つけないでください。（重い物の下敷きになる／無理にねじ曲げたり引っ張ったりする／加工する／加熱する）電源コードが破損（芯線が露出、断線）すると火災や感電の原因となります。また、電源プラグにホコリがたまらない様にしてください。プラグとコンセントの間にホコリがたまると火災や感電の原因となります。定期的にプラグをコンセントから抜いてホコリを取り除いてください。
- ・以下の内容をお守りください。内容に反したご使用をされると火災や感電、火傷の原因となります。
  - ・本機の上や周囲に花瓶や水などが入った容器を置かない
  - ・本機の上に火のついたローソクなど裸火を置かない
  - ・本機を改造しない



## 注意

以下の内容を見逃して誤った取り扱いをすると感電やその他の事故により怪我や物的損害の原因となります。

- ・ふらついたり傾いた所などの不安定な場所や、水滴又は飛沫がかかる場所、湿気やホコリの多い場所、調理器具や加湿器等の油煙や湯気が当たる場所に設置しないでください。落下等により怪我や発煙、発火の原因になります。
- ・電源ケーブルは以下の様な取扱いはしないでください。破損による感電や発火の原因になります。
  - ・プラグを抜く時にケーブルを引っ張る
  - ・ぬれた手でプラグを抜き差しする
  - ・熱器具のそばに近づけて設置する
- ・ヒューズは必ず規定の物をお使いください。規定を越える値(アンペア数)を使用すると火災や事故の原因となります。
- ・長期間ご使用にならない時は、安全のため電源プラグをコンセントから抜いてください。また移動やお手入れの時は、電源を切り真空管が冷えてから電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。
- ・電源を入れる時はアンプの音量を最小にしてください。突然大きな音が出て聴力障害の原因になる事があります。また、ご使用時は適切な音量でご鑑賞ください。長時間大音量でお聴きになると聴力障害の原因となります。
- ・接点復活剤は絶対に塗らないでください。一旦接触が良くなっても、後で修復不能の最悪の状態になる恐れがあります。接点復活剤を塗った場合は保証期間内でも有償修理となります。
- ・付属の電源ケーブルは本機専用です。他の機器では使用できません。

## I 付属品

本機の梱包箱を平らな場所に置き、天面から開封し、注意しながら製品を取出してください。

本体及び付属品は下記のとおりです。ご確認ください。

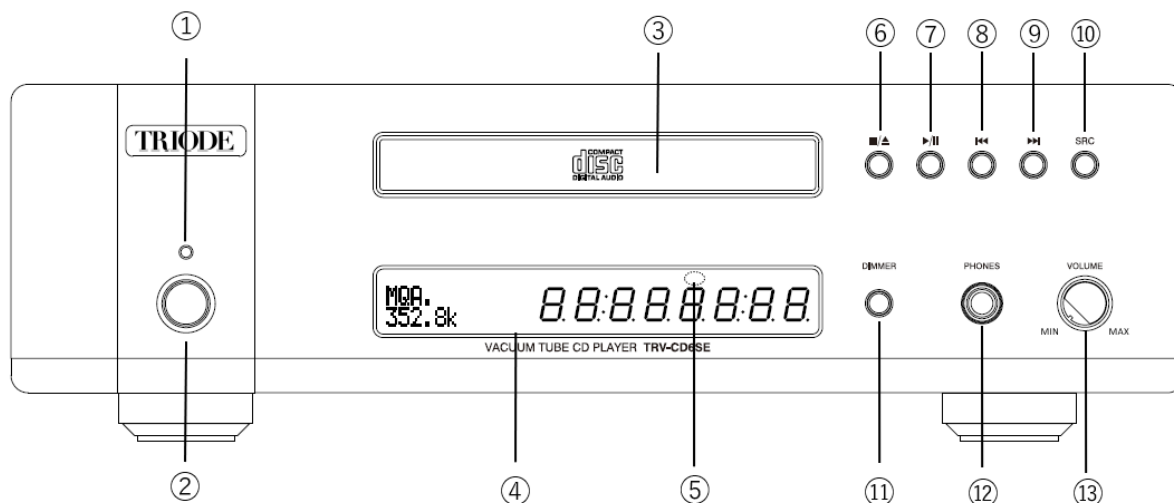
- ① TRV-CD6SE 本体 × 1
- ② AC100V 用電源ケーブル × 1
- ③ リモコン × 1 (単4形乾電池2本付き)
- ④ 取扱説明書(本書) × 1
- ⑤ 保証書 × 1


※保証書には必要事項を記入し、大切に保管してください。

※梱包箱、梱包材は、今後の輸送の際に役立ちますので、保管されることをお勧めします。

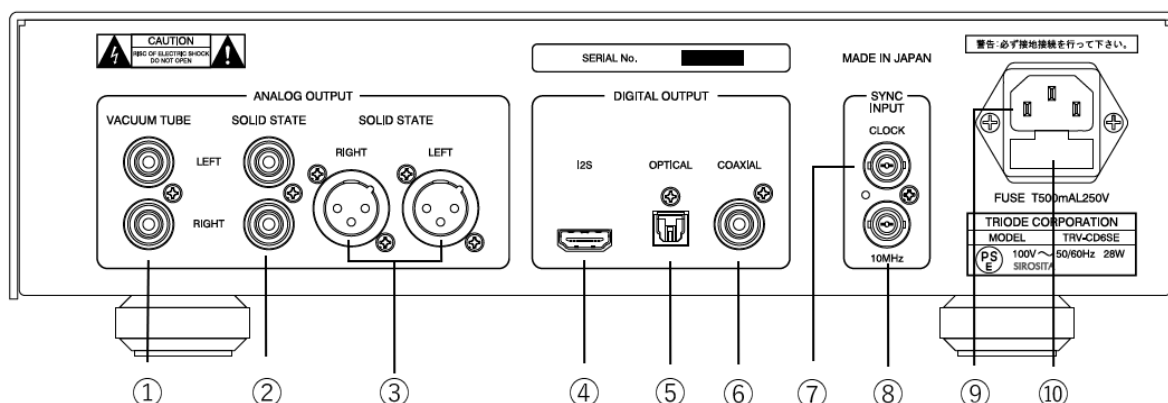
## II 各部の名称と働き

### フロントパネル部



- ① 電源インジケータ：電源 ON 時に点灯します。
- ② 電源スイッチ：押すと電源が入り (ON)、もう一度押すと電源が切れます (OFF)。
- ③ CD トレイ：CD ディスクをセットします。8cmCD にも対応しています。
- ④ 表示部：トラック番号や再生時間、信号の種類、リピートモードなどを表示します。
- ⑤ リモコン受光部：表示部内に有ります。リモコンからの赤外線信号を受光します。
- ⑥ 停止/トレイ開閉ボタン：再生を停止します。停止時に押すと CD トレイが出ます。
- ⑦ 再生/一時停止ボタン：押すごとに再生と一時停止をします。
- ⑧ スキップ (戻し) ボタン：再生中の曲の頭に戻ります。もう一度押すと一つ前の曲の頭に飛びます。長押しすると再生中の曲を早戻し再生します。
- ⑨ スキップ (送り) ボタン：次の曲の頭に飛びます。長押しすると再生中の曲を早送り再生します。
- ⑩ サンプルレートコンバーター (SRC) ボタン：  
押すごとに通常の CD 再生時に内部処理のサンプリングを下記の通り切り替えます。  
OFF → PCM352.8kHz/32bit → DSD5.6MHz  
↑  
 DSD5.6MHz 時の表示
- ※一部の CD を DSD5.6MHz 変換で再生した際に、曲間の無音部でわずかなノイズが出る場合があります。
- ※停止時に約 2 秒長押しすると、MQA デコードの ON/OFF が切り替わります。
- ※MQA-CD 再生時、MQA をデコードが ON の時には SRC 機能は働きませんが、MQA デコードが OFF の時には SRC 機能が働きます。
- ⑪ ディマーボタン：表示部の輝度を押すごとに 高輝度→低輝度→消灯 に切り替えます。  
↑
- ⑫ ヘッドホン出力端子：ステレオヘッドホンを接続します。真空管回路経由の音声を半導体増幅で出力します。
- ⑬ ヘッドホン音量調整つまみ：ヘッドホンの音量を調節します。

## リアパネル部



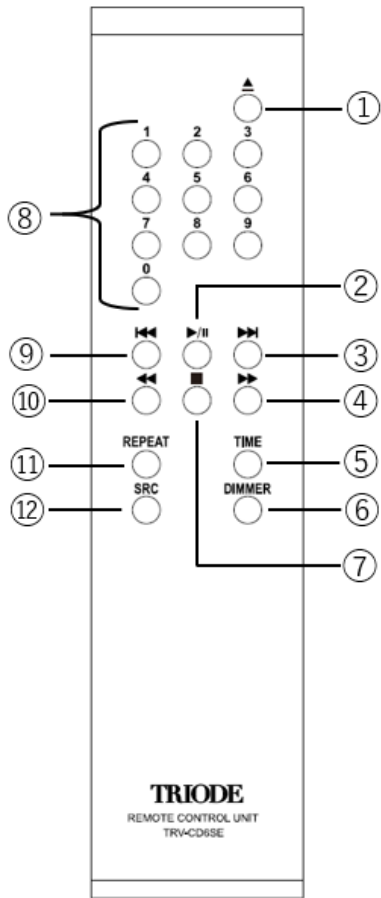
- ① 真空管音声出力端子（RCA ピン）：真空管バッファ回路経由の音が出力されます。
- ② ソリッドステート音声出力端子（RCA ピン）：ソリッドステート回路の音が出力されます。
- ③ ソリッドステート音声出力端子（XLR バランス、2 番 HOT）：ソリッドステートのバランス回路の音が出力されます。
- ④ I<sup>2</sup>S デジタル出力端子：サンプリングレートコンバーター（SRC）の設定や外部同期信号の有無、周波数により出力される信号フォーマットは下記のとおり変わります。端子配列は PS Audio 方式に準拠しています。

### I<sup>2</sup>Sのデジタル出力信号

	SRC設定	外部同期信号					
		無し	44.1kHz	11.3MHz	22.6MHz	45.2MHz	10MHz
通常CD再生時	OFF	44.1kHz/16bit	44.1kHz/16bit				
MQA-CD再生時 (MQAデコードOFF)	PCM	352.8kHz/32bit	352.8kHz/32bit	88.2kHz/32bit	176.4kHz/32bit	352.8kHz/32bit	352.8kHz/32bit
	DSD	DSD 5.6MHz	DSD 5.6MHz				
MQA-CD再生時 (MQAデコードON)	無効	44.1kHz/16bit	44.1kHz/16bit (外部同期信号には同期しません)				

- ⑤ 光デジタル出力端子：44.1kHz/16bit のデジタル信号を出力します。
- ⑥ 同軸デジタル出力端子：44.1kHz/16bit のデジタル信号を出力します。
- ⑦ WORD CLOCK 同期信号入力端子：44.1kHz、11.3MHz、22.6MHz、45.2MHz の WORD CLOCK 信号を入力します。
- ⑧ 10MHz 基準信号入力端子：10MHz 基準信号を入力します。
- ⑨ AC100V 電源インレット：付属の AC100V 用電源ケーブルを接続します。
- ⑩ ヒューズホルダー：内部にヒューズが装着されています。

# リモコン



- ①トレイ開閉：CDトレイの開閉をします。
- ②再生/一時停止：押すごとに再生と一時停止します。
- ③スキップ（送り）：次の曲の頭に飛びます。
- ④早送り：再生中の曲を早送り再生します。
- ⑤時間表示切換：ボタンを押すごとに表示を下記のとおり切り替えます。  
 トラック番号/トラック経過時間 ←  
 ↓  
 トラック番号/トラック残時間  
 ↓  
 総収録時間の残時間

- ⑥ディマー：ボタンを押すごとに表示部の輝度を下記のとおり切り替えます。  
 高輝度 → 低輝度 → 消灯

- ⑦停止：再生を停止します。
- ⑧数字ボタン：聴きたいトラック番号をダイレクトに入力します。

⑨スキップ（戻し）：再生中の曲の頭に戻ります。更に押すと前の曲の頭に飛びます。

⑩早戻し：再生中の曲を早戻し再生します。

⑪リピート：押すごとにリピート再生のモードを下記のとおり切り替えます。

OFF → 1曲リピート → 全曲リピート → ランダムリピート → ランダム再生（1回だけ再生）  
 ↑

⑫サンプリングレートコンバーター（SRC）：押すごとに通常のCD再生時に内部処理のサンプリングを OFF → PCM352.8kHz/32bit → DSD5.6MHz に切り替えます。

↑

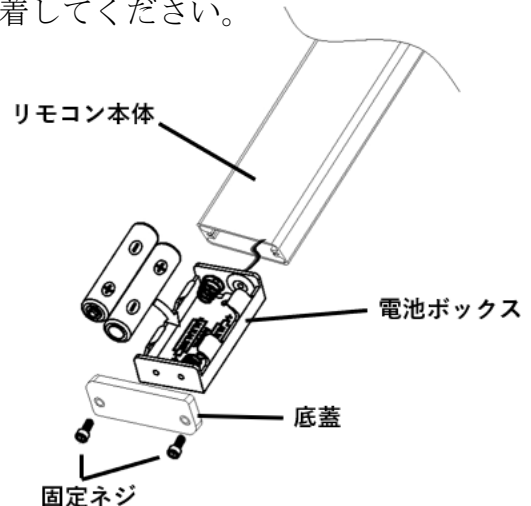
※一部のCDをDSD5.6MHz変換で再生した際に、曲間の無音部でわずかなノイズが出る場合があります。

※停止時に約2秒長押しすると、MQAデコードのON/OFFが切り替わります。

※MQA-CD再生時、MQAをデコードがONの時にはSRC機能は働きませんが、MQAデコードがOFFの時にはSRC機能が働きます。

## 電池の交換方法

- ① リモコン下部のネジ2本を+ドライバーで外し、底蓋を外します。
- ② 内部から電池ボックスを引き出します。  
電池ボックスは強く引っ張らないでください。配線が切れて使用できなくなる場合があります。
- ③ 古い電池を取り外し、新しい電池(単4形乾電池2本)を装着します。  
この時、電池の+/-を確認し、正しい向きで装着してください。
- ④ 電池ボックスをリモコン本体内に戻します。
- ⑤ 底蓋をはめて、ネジ2本で固定します。



## Ⅲ 接続

機器の接続を行う場合には、必ず電源スイッチを切り、電源ケーブルを電源コンセントから抜いてください。

### ① アナログ接続

真空管音声出力端子 (RCA ピン) またはソリッドステート音声出力端子 (RCA ピン) をアンプの入力に接続します。バランス接続の場合は、ソリッドステート音声出力端子 (XLR バランス) をアンプのバランス入力端子に接続します。(2番ピンがHOTです。) ケーブルは別途ご用意ください。

### ② デジタル接続

接続する D/A コンバーターなどの入力端子に合わせて、光デジタル出力端子、同軸デジタル出力端子、I<sup>2</sup>S デジタル出力端子を D/A コンバーターなどのデジタル入力端子と接続します。ケーブルは別途ご用意ください。

③ AC100V 電源インレットに付属の AC100V 用電源ケーブルを差し込みます。電源プラグの電源コンセントへの接続は全ての接続が完了してから、最後に接続してください。

④ 電源スイッチが OFF になっていることを確認してから、電源プラグを電源コンセントに差し込みます。

## IV 操作方法

### ① 電源を入れる

アンプのボリュームが最小になっていることを確認してから、電源スイッチを押し ON にします。電源インジケータと表示部が点灯します。電源を入れてから約 16 秒間は真空管の予熱のため、再生ボタンの操作が無効になります。予熱待機中は、現在設定されている Repeat モードと SRC 設定の表示の後、予熱中の表示が出ます。

A black rectangular display showing the text "Tube Warm UP" in a white, monospaced font.

### ② CD をセットする

本体の停止/トレイ開閉ボタンまたはリモコンのトレイ開閉ボタンを押して CD トレイを引き出します。CD トレイにレーベル面を上にして CD を載せ、本体の停止/トレイ開閉ボタンまたはリモコンのトレイ開閉ボタンを押します。CD トレイが引き込まれて、表示部にトラック数と総演奏時間が表示されます。

### ③ 再生する

本体またはリモコンの再生/一時停止ボタンを押すと再生が始まります。再生中に再生/一時停止ボタンを押すとその時点で一時停止します。再開するにはもう一度再生/一時停止ボタンを押してください。

### ④ 選曲をする

#### ・スキップ

スキップ（送り）ボタンを押すと次の曲の頭に飛びます。スキップ（戻し）ボタンを押すと再生中の曲の頭に戻ります。もう一度押すと一つ前の曲の頭に飛びます。

#### ・ダイレクト選曲（リモコンのみ）

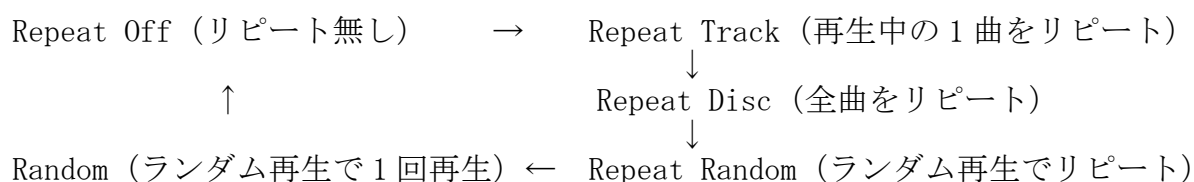
リモコンの数字ボタンでトラック番号を直接指定して選曲できます。10 の位、1 の位の順に数字を入力します。トラック番号が一桁の場合は最初の数字を入力してそのまま 2 秒で指定した曲が再生されます。

#### ・早送り/早戻し再生

再生中にリモコンの早送り、早戻しボタンを押すと早送り再生、早戻し再生します。本体のスキップ（送り）、スキップ（戻し）ボタンを長押ししても同様に動作します。

### ⑤ リpeat再生/ランダム再生

リモコンのリpeatボタンを押すと、現在のリpeatモードが表示部に表示されます。表示中に更にリpeatボタンを押すとリpeatモードが下記のとおり切り替わります。





## ⑥ サンプリングレートコンバーター (SRC)

リモコンか本体の SRC ボタンを押すごとに通常の CD 再生時に内部処理のサンプリングを OFF → PCM352.8kHz/32bit → DSD5.6MHz に切り替えます。



※一部の CD を DSD5.6MHz 変換で再生した際に、曲間の無音部でわずかなノイズが出る場合があります。

※CD 内に MQA トラックと非 MQA トラックが混在していると判定された場合、非 MQA トラック再生時も SRC 設定は無効となります。

LCD ディスプレイに ” SRC OFF ” ” Multi-CD ” を表示します。



※停止時に約 2 秒長押しすると、MQA デコードの ON/OFF が切り替わります。

※MQA-CD 再生時、MQA をデコードが ON の時には SRC 機能は働きませんが、

MQA デコードが OFF の時には SRC 機能が働きます。

## ⑦ 時間表示切換

リモコンの TIME ボタンを押すごとに表示を下記のとおり切り替えます。

トラック番号/トラック経過時間→トラック番号/トラック残時間→総収録時間の残時間



## ⑧ ディマー

本体またはリモコンの DIMMER ボタンを押すごとに表示部の輝度を高輝度→低輝度→消灯 に切り替えます。



## ⑨ MQA-CD 再生

本機は MQA-CD のフルデコード機能を搭載しています。MQA-CD と判別すると自動的にフルデコードして再生します。(電源 ON 時の初期設定) 表示部に MQA の表示とデコードしたサンプリング周波数を表示します。(ビット数は表示されません。)

<表示例>



MQA Studio(アーティスト、マスタリングエンジニア、プロデューサーなどがオリジナルと認定したコンテンツ)の 352.8kHz



MQA(上記 Studio 以外のコンテンツ)の 352.8kHz

停止状態で本体またはリモコンの SRC ボタンを約 2 秒長押しすると、MQA デコードの ON/OFF が切り替わります。

<表示例>



MQA デコードが OFF に切り替わった時に約 2 秒表示が出ます。

また、MQA-CD 再生時にもサンプリング周波数の代わりに Bypassed が表示されます。

MQA Enabled

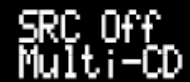
MQA デコードが ON に切り替わった時に約 2 秒表示が出ます。

※MQA デコードを OFF に設定しても、本体の電源を OFF にすると、MQA デコードが ON の初期設定に戻ります。

※MQA-CD を MQA デコード ON で再生時は、サンプリングレートコンバーター (SRC) 機能は働きません。

※CD 内に MQA トラックと非 MQA トラックが混在していると判定された場合、非 MQA トラック再生時も SRC 設定は無効となります。

LCD ディスプレイに ” SRC OFF ” ” Multi-CD ” を表示します。

SRC Off  
Multi-CD

※MQA-CD を MQA デコード ON で再生時は、外部同期信号には同期しません。

※MQA トラックと非 MQA トラックが混在している CD の再生時は、MQA トラック再生時点から外部クロック同期ができなくなります。

## ⑩ 外部同期信号入力

WORD CLOCK 同期信号入力端子、10MHz 基準信号入力端子から外部同期信号を入力し同期させることができます。

外部同期信号を検出すると表示部に外部同期信号の周波数が表示されます。

<表示例>

352.8k  
10M

上段：内部信号処理のサンプリング周波数

下段：外部同期信号周波数

※外部同期信号により、サンプリングレートコンバーター (SRC) による PCM のサンプリング周波数は 88.2kHz (11.3MHz 入力時)、176.4kHz (22.6MHz 入力時) になります。

※10MHz 基準信号を検出時は、WORD CLOCK 同期信号より 10MHz 基準信号を優先します。

※MQA-CD を MQA デコード ON で再生時は、外部同期信号には同期しません。

※MQA トラックと非 MQA トラックが混在している CD の再生時は、MQA トラック再生時点から外部クロック同期ができなくなります。

## V 故障かな？と思ったら

故障かな？と思ったら、下記を調べてみてください。故障ではなく解決する場合があります。また、本機以外に原因がある場合もあります。ご使用の他の機器も合わせてお調べください。下記の項目を調べても直らない場合は弊社サービス部門にご連絡ください。

症状	原因	対策
電源が入らない。	<ul style="list-style-type: none"><li>電源ケーブルが抜けている</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>電源ケーブルを電源コンセント、電源インレットに正しく差し込んでください。</li></ul>
CDが再生できない CDの音が飛ぶ	<ul style="list-style-type: none"><li>CDに傷が入っている</li><li>CDが汚れている</li><li>CDが裏返しになっている</li><li>ピックアップが結露している</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>傷が酷いCDは再生できません</li><li>CDをクリーニングしてください</li><li>CDを正しく入れてください</li><li>本体が周辺温度になるまで暫くお待ちください</li></ul>
音が出ない	<ul style="list-style-type: none"><li>接続コードが端子から外れている、または、間違えて接続されている。</li><li>アンプの入力セレクターの位置が再生機器と合っていない。</li><li>アンプがミュート（消音）になっている。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>正しく、確実に接続してください。</li><li>正しく切り替えてください。</li><li>ミュート解除してください。</li></ul>
リモコン操作ができない	<ul style="list-style-type: none"><li>リモコンの電池が消耗している。入れ間違っている。</li><li>距離が離れすぎている。角度が悪い。障害物がある。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>新しい電池に交換してください。また、正しい向きで入れ直してください。</li><li>障害物を避け、本機に近づけて操作してください。なるべく、正面から操作してください。</li></ul>

## VI ヒューズの交換方法

ヒューズが切れた場合は故障など切れた原因があります。交換前に弊社サービス部門にご連絡ください。

もしヒューズ交換をする場合には、AC100電源インレットから電源ケーブルを抜き、ヒューズホルダー上面にある溝にマイナスドライバー等を引っかけてヒューズホルダーを引き出します。

ヒューズはタイムラグ型 T500mAL250V を使用してください。



## VII 保証について

製品は厳密な検査を経て出荷されておりますが、正常な使用状態で故障が発生した場合は、保証規定により無償で修理させていただきます。

1. 保証書による保証は、保証書に記載のあるお客様に対してのみ適用されます。
2. 保証期間はご購入日より保証書に記載の期間内です。
3. 保証期間内の正常な使用状態において、故障が発生した場合には無償で修理致します。
4. 次の場合は、保証期間内でも修理は有償にて申し受けます。
  - (1) 保証書のご提示のない場合。
  - (2) 保証書にお買い上げ日、お客様名、販売店名の記入がない場合あるいは字句を書き換えられた場合。
  - (3) お買い上げ後の移動、落下等による故障および損傷。
  - (4) お取り扱い上の不注意による故障、誤用あるいは故意の濫用による故障の場合。
  - (5) 火災、地震、風水害、雷、その他天災地変、塩害、公害や異常電圧による故障および損傷。
  - (6) 故障の原因が本製品以外の部分またはその他の機器によって生じた場合。
  - (7) 本製品純正品以外の真空管を使用した事による故障および損傷。
  - (8) 業務用など一般家庭用以外での使用による故障および損傷。
  - (9) お客様のご使用環境や維持・管理方法に起因して生じた故障および損傷。（例：埃、錆、カビ、虫や小動物の侵入、接点復活剤の塗布等）
  - (10) 当社もしくは当社が委嘱した者以外の手により修理、調整、改造等が行われた場合。
  - (11) 保証期間中に発生した故障について、保証期間終了後に修理を依頼された場合。
5. 保証書は不可抗力による紛失等の場合を除き再発行いたしません。
6. 故障によりお買い上げの製品を使用できなかったことによる損害については補償いたしません。
7. この保証は日本国内においてのみ有効です。

## VIII 仕様

- 対応ディスク : CD、CD-R、CD-RW  
(CD-DA フォーマット、MQA-CD、8cm ディスク対応)
- 使用真空管 : 6922 (6DJ8/E88CC) × 2 本
- アナログ出力端子 : 真空管出力 : RCA ピン (出力レベル 3.1Vrms)  
ソリッドステート出力 : RCA ピン (出力レベル 3.1Vrms)  
XLR バランス (2 番 HOT、出力レベル 3.1Vrms)
- S N 比 : 112dB (XLR バランス)
- デジタル出力端子 : 同軸 RCA ピン (44.1kHz/16bit)  
光 TOS-Link (44.1kHz/16bit)  
I<sup>2</sup>S HDMI ジャック (44.1kHz/16bit、352.8kHz/32bit、DSD5.6MHz)
- 同期信号入力端子 : WORD CLOCK 端子 BNC ジャック (44.1kHz、11.3MHz、22.6MHz、45.2MHz/  
矩形波 5V<sub>P-P</sub> 内部終端 75Ω)  
10MHz 基準信号端子 BNC ジャック (10MHz/正弦波 0.5 V<sub>P-P</sub>、矩形波 5V<sub>P-P</sub>、  
内部終端 50Ω)
- ヘッドホン端子 : 6.3mm ステレオ標準ジャック  
(真空管回路経由の音声を半導体増幅、300mW+300mW (40Ω))
- 定格消費電力 : 28W
- サイズ : 横 345×奥行 335×高 105mm
- 質量 : 8.1kg

※製品の外観、仕様は改善のため予告なく変更することがあります。

- 本機補修用真空管 (2021 年 1 月現在)  
6922 税込価格 4,180 円 (1 本) (消費税率 10%)

株式会社トライオード  
〒343-0032 埼玉県越谷市袋山 609-3  
TEL : 048-940-3852 FAX : 048-940-3853  
E-mail : service@triode.co.jp